



2011～2012年度 ROTARY CLUB OF TOYOKAWA HOI CLUB WEEKLY

やらまいか

例会日／毎週火曜日 12：30 例会場／豊川商工会議所 会長／山城康司 幹事／滝下 勲 会報委員長／土井昌司
事務局／豊川市豊川町辺通 4-4 豊川商工会議所会館内 TEL0533-86-2535 Fax0533-86-8889 HP／<http://toyokawahoi.tank.jp>

クラブテーマ：心と身体を健康に

本年度第43回 通算1251回 平成24年5月29日(火)	出席報告	会員総数	出席者数	出席率	5/15 修正出席率
		58名	26名	52%	100%

ゲスト：NPO 法人穂の国森林探偵事務所 理事長 高橋 啓さん ビジター：(なし)

★会長あいさつ

山城康司会長

こんにちは。先週は色々なことがありました。まず、金環日食が日本各地で見られました。そして東京スカイツリーが開業しました。登山家の竹内洋岳さんが日本人初の 8000m 峰全 14 座の登頂を果たしました。もう一つは、登山家の渡辺玉枝さんが、世界最高峰のエベレストに女性最高齢で登頂に成功しました。勇気をもって挑戦をしていく気持ちは、ロータリアンとしてとても大切だと思った出来事でした。

★幹事報告

滝下 勲幹事

例会臨時変更のお知らせ
次回例会のお知らせ

★環境保全担当例会

委員長あいさつ

土井昌司委員長

本日は、皆さんと森林について考えてみたいと思います。設楽町、新城市、豊川市、豊橋市と豊川水系の市町村があります。我々が飲む飲料水、農業用水、工業用水など、日ごろから豊川から非常に大きな恩恵を受けています。全国に 1 級河川が 162 河川あり、水のきれいな河川のベスト 20 に豊川が入っています。全国から見ても屈指の清流になります。この美しい豊川を育む一つの大きな要因として、奥三河にある山林があります。

今日は、その奥三河の山林に携わっている方を講師にお迎えしました。NPO 法人穂の国森林探偵事務所理事長の高橋啓さんです。社団法人奥三河ビジョンフォーラムの嘱託研究員、東三河流域森林・林業活性化センターの事務局長もされています。ご清聴お願いします。

卓話

高橋 啓氏

こんにちは。今日は街づくり系の話も含めてお話をさせていただきます。森林探偵事務所というのに少し引かかる方もあると



思います。NPO 法人の申請をする時にも、いかがわしいから名前を変えた方が良いのではという意見も頂きました。私の仕事は、山を探す仕事です。以前、森林組合の職員をしていた時に、自分の山が良く変わらない山主さんが森林組合に相談に来られていました。なぜ、自分の山がわからないのか、その時にはわかりませんでした。結局、相続をして、突然、山主になってしまった。杉と檜もわからない、どこにあるかもわからない、でも固定資産税は払わないといけないという方、山に木を植えて育てたけど、息子や孫に継承したいという方など、様々な方々か多くおみえになりました。

現在やっている仕事は、山を見える化する仕事です。山主さんが、山へのアクセスをどう見出すか、地域の皆さんも山を意識しなくなっています。森の探索をしたり、ハンディ GPS を使って、森のカーナビをしています。森と山主さんを繋ぐ、森と地域を繋ぐ事業を行っています。山を探した後、山主さんが山林経営できる環境まで提供しないと先に繋がりません。また、GPS や GIS の技術を使うとビジネスが出来ることもわかりました。獣害対策の調査、マップ化などの基礎調査の依頼も受けています。

個人の山主さんが抱えている問題は、今ま

でなら、地域の詳しい誰かに聞けば山の事を知っているが、今はそういう方がなくなりつつあります。そうすると、個人の山主さんが個人で問題を抱えて解決できない状態になっています。そこを打開するためにどうしたら良いか、私が奥三河ビジョンフォーラムで街づくりをやってきましたので、街づくりの手法を使って個人の山主さんの問題を解決する事業を行っています。

山の経営のできる山主さんが、殆んどいなくなりました。その山主さんを再教育して、山の価値、木材の市場がどうなっているか、自分の山をどうしたらお金にできるのか、などの講習会を開いています。そして、自分の山の境界を自分で知るために、GPSの使い方の講習会も同時に行っています。GPS、GISの技術を使うと色んなことが出来るのです。山の獣害発生地の特定と対策を提案したりします。その他、間伐や測量も行います。

秋葉道・木の駅プロジェクトについて説明をします。今年の1月頃から新城の大野地区で行いました。「間伐材を晩酌代にしましょう」とオヤジたちのプロジェクトを始めました。山から木を持って来て、それを地域通貨に還元して、地域の商店街や温泉旅館で使うということです。事業コンセプトは、山でお金を生み出したことが無い素人山主さんが、山からお金を稼ぐということです。これは、道の駅で100円の野菜を売る感覚です。自分が出来る範囲でお金を稼ぐ。自分の山が街づくりに活かされるということにもなります。新城地区は商店街がシャッター地区になっています。そういう街をどのように活性化するか、自分の山の資産を街づくりにどう活かせるかです。山を個人の資産としてだけでなく、地域の森林として考えられるようにする。地域支援の価値を地域の住民が作り出すということを、森を使って行いました。

探偵事務所の持っているコンセプトとしては、素人山主が自分の山の経営に関心を持ってもらう事。地域が財産区・共有林業、地域資産としての森林の経営・承継に関心を持ってもらう事。地域山主が他人の山の経営に関心を持ってもらう事。地域が地域内森林と経営・整備・活用に関心を持ってもらい、行政や他地域と連携を図ってもらう事。街づくりをすることにより、行政や公の団体と連携を取りやすくなります。この結果、森林探偵事務所の事業が増えていきます。

愛知県の「あいち森と緑づくり事業」の間伐事業が大野地区ではたくさんありました。森の中には間伐材がゴロゴロ転がっています。もったいないのですが、柱材には取れないので売れません。それは皆さんゴミだと思っ
ていますが、それを山主さんに出してもらいました。そして名古屋港木材倉庫というチップの業者に売りました。チップ業者には、1トン当り3,000円で買い取ってもらいました。1トン当り6,000円という地域通貨を発行しました。この地域通貨が「アキハ券」で大野商店街と湯谷温泉でしか使えません。実施期間は1月から5月、出材参加者15名、参加の商店が22商店、出材量66.5トン、地域通貨発行量は381アキハで381,000円が参加商店に落ちました。今回の事業では、行政補助金は使いませんでした。ただ、民間からは165,000円の寄付を集めて、収支は-10,502円になりました。これは林業ではなく街づくりなのです。実績としては、諦めていた資源を価値化することができ、90,000円ぐらいのお金が取れました。そうすると、もっと高く、もっと沢山売りたいくなります。柱材で自分の山から出したらいくらになるのか、もっとでかい材を出すのは、どうしたら良いかの勉強がしたいということになります。自分の山から間伐材を全て出してしまうと、隣の山が気になりだします。地域の森林状況を集めたいという地域の欲求状況が出てきます。さらに地域内で森林に関心を持つ仲間づくりがしたくなります。実は、大野地区の住民は、地元の商店街を利用してしなかった。今回は、それを少し打開し、地元の資産で、地元消費することができました。大野商店街ではかなりインパクトが大きかったようです。街づくりをする仲間が増えたという意識が出てきました。2回目を9月から始めることになっています。そして東栄町に飛び火をして、東栄町で木の駅プロジェクトが始動しました。探偵事務所の仕事を漠然と紹介させて頂きました。ご清聴ありがとうございました。

★ニコニコボックス

土井昌司会員 例会を担当します
野中泰志会員 入会を祝って頂き
大島嗣雄会員 所要にて途中退席します

会報担当者：土井昌司会員、来山健一会員
このウィークリーは再生紙を使用しています。